

3. 北関東（地域別調査機関：（株）日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる	コンビニ（経営者）	・近くに大型ショッピングセンターができたことにより、乗客数は前年比101%になった。集客装置が増えたということで、客がこちらに向かうという点では大歓迎である。まだまだこれから伸びる余地はある。
	やや良くなる	商店街（代表者）	・子ども手当の支給により、日用品等の買物がされるのではないかと期待している。
		一般小売店〔家電〕（経営者）	・天候の関係で動きの遅れていたエアコン等、夏の商品がこれから動いて良くなる。
		百貨店（営業担当）	・現在はリニューアルオープン記念で非常ににぎわっているが、これからは定価商品の安定が必要である。いろいろな企画を出して集客効果を狙いながら、紳士売場では細かい商品化計画を実行したい。
		百貨店（販売促進担当）	・婦人衣料が順調に回復し、その次に子ども、さらに紳士服という風に商品の動きが活発になる。ただ、一部宝飾品等の高額品は依然として低迷しており、まだまだ価格に対する消費者の意識は非常に強い。
		スーパー（経営企画担当）	・上場企業の3月期決算が予想より好結果であったこと、メーカーの時間外勤務も増加傾向なことや子ども手当の支給等を考えれば、消費も多少は増える。
		スーパー（統括）	・1点単価は下げ止まっていなかったが、客単価は持ち直してきており、消費意欲は徐々に回復してくる。
		コンビニ（経営者）	・イベントやキャンペーンを行う予定なので、やや良くなる。
		コンビニ（経営者）	・3か月前から客が大分減っていたが、最近徐々にまた戻ってきているように思えるので、いくらか良くなる。
		コンビニ（経営者）	・気温が上昇することと、子ども手当の支給により、購買意欲が増す。
		家電量販店（店長）	・エコポイント制度が12月まで延長となったエアコンや冷蔵庫が、夏に向けて好調になることを期待している。
		乗用車販売店（営業担当）	・ボーナス時期で補助金制度の期限も近づき、駆け込み需要が見込める。
		住関連専門店（仕入担当）	・節約志向に客がストレスを感じ始めているのか、少しずつであるが販売単価の改善も見られるので、出遅れている季節商材の盛り返しを期待している。
		一般レストラン（経営者）	・連休と観光シーズンが重なり、5月は順調に伸びる予想である。6、7月は例年5月の勢いのままなので回復基調となる。
		一般レストラン（経営者）	・単価的には悪くないので、天候次第では回復する。
		観光型ホテル（営業担当）	・大手旅行会社のツアーは大幅な減少傾向ではあるものの、インターネット経由の個人や直接予約の一般客は堅調である。高速道路の実質値上げ等がなければ、国内旅行者については昨年同様マイカー客の動きに期待している。
		旅行代理店（副支店長）	・夏場の需要を検討している客が申込に来るのがゴールデンウィーク明けかと思うので、それを期待している。
		テーマパーク（職員）	・新しい展示物の効果が期待できる。
		その他レジャー施設〔アミューズメント〕（職員）	・決して時給が低いわけではないが、アルバイトの退職が目立っている。当社以上の時給を見つけて退職していく状況から、求人が増えていると感じる。
		その他サービス〔立体駐車場〕（従業員）	・ゴールデンウィークを迎えて、各テナントともイベント等を控えており、かなりの予約状況である。また、当駐車場において毎月約10件くらい月ごめの募集が増えているので、この先かなり増えていき、単価も更に2～3%増える状況と予想されるので、やや良くなる。
その他サービス〔フィットネスクラブ〕（マネージャー）	・客は残業時間が増え、使えるお金が増えてきている実感がある様子である。		
住宅販売会社（経営者）	・同業他社も含めて活気づいてきている。		
変わらない	商店街（代表者）	・客はイベント等の機会や、安売り、エコポイントの還元等消費の動機付けがあると出費するが、無駄には敏感になっている。	
	一般小売店〔精肉〕（経営者）	・大型店の撤退で小さな店が少しは元気になりそうであるが、客の消費行動は控えめであろう。客は代わりに大型店が出てくれればと望んでいる。	

一般小売店〔家電〕 (経営者)	・我慢の限界かとも思われるが、余分な経費を算出するのは厳しい様子がみられ、連休も近場で済ませる家庭も多いようである。
百貨店(総務担当)	・5月の大型スーパー閉店セールにより、どのぐらいのダメージがあるか不安である。また、その後お中元商品の動きがプラス材料になるのか不安である。
百貨店(販売促進担当)	・消費者の低価格指向は引き続き継続する。
スーパー(経営者)	・製造輸出業は改善の兆しだが、給与に反映されないために内需に関しては改善がみられない。
スーパー(店長)	・気温が低い状態が続いて、収穫期が遅れることによる農家の収入源がマイナス与件である。また弱電関係の工場の従業員再募集による地域経済の活性化がプラス与件である。
スーパー(総務担当)	・製造関連は受注が増えて来ているとの事だが、収入増にならないと、小売業の売上回復にはつながらない。
コンビニ(経営者)	・今が最底値だと思うので、これ以上は下がらない。一部テナントが入って来たり、工事があつたりしてその辺にプラス要因が感じられる。
コンビニ(店長)	・客の動きは大分活発になってきた気はするが、買う金額が上がっていないので、気持ち的には良くなってきているかもしれないが、現実は大大きく上向いてこない。
乗用車販売店(営業担当)	・例年4月は販売量、仕事量とも少ないが、新規の商談が出てこないのが先行き不安である。
乗用車販売店(販売担当)	・観光地を控えてホテル関係は安売り、レストラン、飲食店関係はコンビニ弁当のような格安の所はそこそこ入っているらしい。しかしそれ以外のホテルや旅館、レストラン等飲食店関係は2、3か月売上が全く変わっていない。これから先も店を取り巻く環境が良くなる要素がないので、このままの悪い状態が変わらずにいく。
乗用車販売店(管理担当)	・景気低迷が続き、また、異常気象による野菜や果樹等の価格上昇が続く。
乗用車販売店(販売担当)	・3か月先も変わらないと思うが、9月以降の補助金が無くなった後がとて心配である。
自動車備品販売店(経営者)	・お金が全く無いわけではないと思うが、身近な所で企業が倒産していることが多い。マイナス要因が目立ってプラス要因が身近な所に無い。ただ消費のほうは緊縮状態なので、いずれ膨らむ時が来るとしており、差し引き、どちらとも言えない。
高級レストラン(店長)	・景気が悪化するたびに下げ止まった低水準で固定化し、回復の無いまままた悪化する状況が続いており、今後、人口減少、市場規模の縮小する中、地方の個人経営等の零細企業の多くは淘汰されていく。
スナック(経営者)	・宴会の動きは低調で、ゴールデンウィーク中の予約もあまり多くない。悪いまま変わらないような気がする。
都市型ホテル(経営者)	・市内の景気が底で安定している。
都市型ホテル(支配人)	・統計等では景気は回復しているということだが、地方のホテルではビジネスマンの動きは特に良くなっておらず、逆に停滞したままである。連休の短期間だけは予約が入っているが、前年の売上をクリアするのは大変な状況となっている。
通信会社(経営者)	・企業間の競争が激しすぎ、赤字でも売ることがまかり通っており、このままでは市場はほんの一部の勝ち組とそれを除いた大多数の負け組に変わっていくので、雇用問題等解決するはずがない。経済全体がまるでゲーム感覚であり、行く末が不安である。こんな状態では物を買おうとか設備投資をしようという気にはならない。
通信会社(局長)	・生活の無駄を削減する動向は以前と変わらず、より堅実さが増している。
通信会社(営業担当)	・天候の変動によって果樹をはじめとする農作物に大きな影響が出るので、3か月後には影響の大小が現れてくる。
通信会社(営業担当)	・まだ様子を見る傾向が強いため、大きな変化は期待できないが、緩やかな改善傾向は続く。
ゴルフ場(従業員)	・来場予約が昨年と同じである。
ゴルフ場(支配人)	・5、6月の予約は順調であるが、建設業や地場産業関連の来場はまだまだ低迷しており、IT関連のコンペに支えられている状況である。

	ゴルフ場（業務担当）	・5、6月の予約の引き合いがきていて前年比でほぼ変わらない状況である。土曜、日曜の引き合いが来ていることから、先行きがいづらか明い見通しであるが、現時点で前年より売上等がマイナスであり、今後いづらか回復するにしても、特別良い方向にいくとは見受けられない。価格の下落が続いており、いづれにしても売上は前年を達するのが困難な状況である。
	美容室（経営者）	・今年度の事業計画の中でパーマキャンペーンを実施する予定にしているが、キャンペーンを実施しても、そんなに客は増えないと思う。普段の客をしっかりと取っておかないと、客が逃げる場合があるので、これからも売上はそんなに変わらない。
	その他サービス〔自動車整備業〕（経営者）	・ハイブリット車の販売増以外の動きはほとんどなく、特に小型乗用車の販売売上は突然止まっている。車検については、依然として軽自動車と小型乗用車のみ減少せずに前年度以上を維持している。
	設計事務所（経営者）	・まだ今の状況で安定して良くなっていくとは思えない。
	設計事務所（所長）	・新年度の初めであり、現在と変化は無い。また、官庁からの発注業務もあまり期待できない。
	住宅販売会社（従業員）	・アパート、リフォーム部門では住宅版エコポイントに期待しているが、今までのところあまり動きはみられない。
やや悪くなる	商店街（代表者）	・3、4月は新学期なのでどうしても新しいものをそろえなければならぬから何とか売上も伸びていたが、これからは落ち着いてくるし、やや悪くなっていく。
	一般小売店〔乳業〕（経営者）	・消費意欲向上の要素が全く無く、資産取り崩しもそろそろ限界である。
	衣料品専門店（経営者）	・中心市街地の人通りは無に等しく、ほとんどが車利用であり、固定客に頼る当店では先細りの現状である。
	衣料品専門店（店長）	・3月分の春物商品の動きが遅れたために、その分が4月に表れ、今月の売上は約1年ぶりに良かったが、今の状況を考えるとまだまだ好転するとは考えにくい。
	衣料品専門店（販売担当）	・地方都市ということもあるが、天気にかなり左右されて動いている。例えば農産物のように天候によって生産性が高まる職業が多いところであり、今後期待できる部分が少ないと感じている。
	一般レストラン（経営者）	・いろいろな業種の人からなかなか景気が良くなれないという話を聞いており、良くなる傾向が見えない。
	都市型ホテル（スタッフ）	・大都会や大企業では景気が回復していると聞いているが、地方都市である当地域では相変わらず不景気が続いている。同じ企業内で共倒れが出てくるのではないかと思う。
	タクシー（経営者）	・下げ止まりの状況も見受けられるが、まだこの先も良くなる見通しではない。
	遊園地（職員）	・消費マインドの冷え込みや一般家庭の所得減少によるレジャー支出抑制の影響が大きく、しばらくは消費単価の大幅な伸びが期待できない。
	ゴルフ練習場（経営者）	・物の値段が上がる傾向になっていて、消費者は買物を手控えている。
	競輪場（職員）	・例年春になると入場者数、売上共に増加するが、天候不順のせい、今年は横ばいがマイナス傾向にある。
	美容室（経営者）	・地方都市でもイベントの時は多少なりとも人が出るが、終わってからは反作用のようにピタッと静かな町になってしまい、いろいろ宣伝を掛けても思った効果はない。かつての一番店は後継者もいなく、客が入っている様子もない。当店の月間売上も前年度比9%減である。
	その他サービス〔清掃〕（所長）	・大型連休や夏季休暇等の時期になるが、ガソリンや天候不順による野菜の高騰など、景気回復につながる状況が見受けられず、家計はより厳しくなる。
	住宅販売会社（従業員）	・別荘のような高額消費の回復は依然として見込めない。
悪くなる	一般小売店〔衣料〕（経営者）	・商売仲間で作るグループが解散し、商店の連合会も解散する雰囲気である。もろもろの要素の中に良くなる様子が見受けられない。
	衣料品専門店（経営者）	・商店街の空洞化がどんどん進んでいくようである。
	スナック（経営者）	・ともかく良くなるという要素が全然見付からない。本当に向こうが見えないという感じで、他にいう事がない。

		通信会社（経営者）	・2～4月と同業他社が次々と事務所をたたんでおり、地方では平成大不況がまだ進行中である。顧客である物販、飲食業者も次々と店をたたみ、売掛の回収さえまならない。中小企業金融円滑化法を採用したが、このままでは回収不足で2～3か月後には利息さえ払えなくなる。
企業 動向 関連	良くなる	輸送用機械器具製造業（総務担当）	・現在、昨年の倍以上の受注となっており、3か月先を見ても、受注は前年比140%という上ぶれ方向になってきている。先行きは見通しが明るくなってきている。
	やや良くなる	一般機械器具製造業（経営者）	・建設機械及び産業機械分野において中国向けの仕事が増加し、取引先各社が増産体制に入っている。新規の引き合いも増えてきている。
		輸送用機械器具製造業（経営者）	・取引先、またそれ以外の会社で、受注量が戻りつつある会社が出てきている。
		金融業（役員）	・各業種共に決算内容が改善し、今後も段階的ではあるが着実に良くなる。
		金融業（経営企画担当）	・昨年は新型インフルエンザの影響で、観光地では特に中国人の減少が顕著であったが、ビザの発給緩和措置もあり、予約状況は良好である。同様に国内修学旅行客も戻ってきており、順調な予約状況となっている。
		その他サービス業〔情報サービス〕（経営者）	・現状の引き合いから、今後受注量が増加すると思われる。
変わらない	窯業・土石製品製造業（経営者）	・Web販売に関しては、むらがあるものの、ほぼ例年の売上実績に近付きつつある。また、新製品の試作開発も行っているが、受注動向が全く不透明になっており、自社製品に付いても予測すら立たない状況である。	
	窯業・土石製品製造業（総務担当）	・景気の悪さに変化はなく、悪い景気は当分続きそうである。	
	金属製品製造業（経営者）	・当社の得意先は4月から仕事が出て良くなるという話だったが、4月は駄目で5月も分からないが、6月には仕事が出るというので、それを楽しみに待っている。	
	一般機械器具製造業（経営者）	・受注高は10か月横ばいを続けており、今後もこのような状態が続く模様である。	
	一般機械器具製造業（経理担当）	・スーパーなどの売上はそれほど伸びているとも思えず、小さな企業、特にものづくりの企業は閉鎖状態に追い込まれている。	
	電気機械器具製造業（経営者）	・取引先の製品は設備の優先順位が低い製品のため、全般的な景気状況が良くならない限り、受注が伸びない。	
	電気機械器具製造業（経営者）	・新規物件や新製品、開発の話がここ何か月も止まったままである。取引先は4～5社あるが、話は全然無い。以前は5年であった機械類の更新も、今は8～10年持たせているので、リピートオーダーが全然来ず、さんたんたる状況である。自動車が少し盛り返していたが、ここに来て生産調整をして、量的に落ちてきている。	
	電気機械器具製造業（経営者）	・厳しい状況は変わらず、不安も多く、先が全く見えない。受注はまだ確定しておらず、厳しい状況が続く。	
	その他製造業〔宝石・貴金属〕（経営者）	・新作をそろえたいという問屋や小売店が出てきたので、春先の需要に期待したい。仕入れを極端に抑えていた顧客が仕入れをしてくれることを期待する。	
	輸送業（営業担当）	・子ども手当等の給付を期待して、購買意欲が高まり、結果として物量も増えるのではないかと思う。しかしながら燃料の高騰もあり、デフレ時の底上げもかなわない状況で、利益の薄い状況がまだまだ続く。	
	金融業（調査担当）	・製造業では、先行きの需要動向が不透明な企業も多く、引き続き増産対応にも慎重な姿勢の企業が多い。	
	不動産業（経営者）	・構造的にこれからの世代には収益を期待できそうもない。	
	不動産業（営業担当）	・ホテルや賃貸の不動産物件では客をつけるために、価格を低料金にすることが考えられるが、本当に効果があるのかが不透明である上、そうした場合、業績、運営共に非常に厳しい方向に行かざるを得ないので、いかにそうならずに、客に成約や申込をしてもらおうかを考えなくてはならない。3か月後も今と変わらない。	
	新聞販売店〔広告〕（総務担当）	・この先支給される子ども手当による売上増を期待する声も聞かれるが、結果的には貯蓄に回るのではないかと見る店主が多数である。チラシでも、大手スーパーで今月からサイズ、色、配布地域などを縮小している。	
	経営コンサルタント	・下請企業も建設業も仕事の面で、受注と失注が入り混じって推移しており、見通しは楽観できない状態である。	

	社会保険労務士	・依然として提示価格が厳しいが、受ける側も明らかに赤字では引き受けなくなってきており、しばらくはこう着状態が続く。	
やや悪くなる	食料品製造業（製造担当）	・新店舗が出店するのは良いが、結局は客の取り合いで単価の勝負になる。主力納品先のスーパーにもその影響が出ており、人口増加のない状態での出店は価格戦国時代をますます加速させて、資本のないところは倒産しかない。	
	金融業（総務担当）	・取引先が、今後の受注は更新案件の金額面で引下げや、定期的に行っていたものを都度の受注に変えられるなどの厳しい交渉が続く、と話している。	
悪くなる	化学工業（経営者）	・ここ数か月先の受注の状況もまるでなく、当業界は冷え切ってしまって回復の兆しはまるでないようである。	
	電気機械器具製造業（営業担当）	・仕事量減少により、4月から週休3日体制になっている。この先いつ景気が上向くのか、仕事量が増えるのか、全く見通しが見つからない状況である。	
	建設業（総務担当）	・公共工事主体で土木舗装工事を行っているが、金融機関からの新規融資が受け入れられない経営状況で、4月は受注ゼロだったので今後の資金繰りが心配である。	
雇用 関連	良くなる	-	
	やや良くなる	人材派遣会社（経営者）	・自動車関連等については動きが見られるので、少しずつ伸びていくと見込みを立てている。衣料関係は気温の差が販売にマイナスの要因として働くかもしれない。住宅関連のほうでは増改築、新築なども見られてくるので、夏までの期待を持っている。
	変わらない	人材派遣会社（管理担当）	・派遣が請負ヘシフトしているものの、元々の仕事自体が増えていないため、変わらない。
		職業安定所（職員）	・受注が回復傾向にある事業所があるものの、そうした事業所でも、受注の先行きには不安を抱えているようであり、正規従業員を採用するところまでは踏み切れずにいる。
		職業安定所（職員）	・一部の製造業において、今後の生産計画と定年退職者の補充の影響で求人への動きはあるが、それでも期間従業員等の求人にとどまっている。雇用調整助成金計画も、前月同様で推移している。
		職業安定所（職員）	・平成22年3月の求人が新規求人で34.7%と前月比で伸びているが、その多くがパート求人であり、正社員求人が相変わらず伸びを欠いている。そのため今後2～3か月の間に正社員求人が極端に増えるとは思えず、景気は変わらない。
		職業安定所（職員）	・新規求人申込に訪れる企業担当者の様子を見ると、増えている印象は無いが、一定数の来所が毎日あり、新規求人数においても3月の前年同月比では4.9%の増加となっている。採用面において徐々に変化が現れてきている印象がある。
		民間職業紹介機関（経営者）	・製造業では業務量が増え始め、忙しくなりつつあるが、価格に相当な値引きを求められるため、経営数値に明るさが見えず、慎重な姿勢を維持している。
		学校〔専門学校〕（副校長）	・平成22年度新規求人を募集している企業は昨年に比べ現段階では少なく、昨年度同様厳しい状況は続く。ただ若干名でも早い時期に新卒求人が出てくるとなると景気上昇と考えることができる。
	やや悪くなる	人材派遣会社（経営者）	・仕事の量が減り、売上がほとんどない。最悪である。
新聞社〔求人広告〕（担当者）		・ガソリンの急騰により、市内の車関係の企業に影響が始めている。	
悪くなる	-	-	